

### 過去問の学習方法

1. 過去問は最高のバイブルです。専門校の答練にも良問はありますが、やはり本試験に叶うものではありません。特に事例Ⅳの経営分析は、各企業の数値を徹底的に洗い出す練習をすれば、必ず本試験での対応力を確保できます。

DVDでは話していませんが、平成 24 年度の論点と同様のものは、平成 17 年度で予想財務諸表の問題が、16 年度で企業価値の問題が出題されています。Amazon やオクシオン等を利用してできるだけ過去問を解く事をおすすめします。

### 事例Ⅳの本番での対処方法

1. 最初の 20 分は、とにかく我慢。どこに配点があるか？そのうち自分は、どこで点を取るか（できるだけ単独問題）をしっかりと設計する。
2. 「いける」と思って途中まで実施した問題であっても、途中で無理と感じたら「すっぱり、あきらめる事」も大事
3. 記述問題は、とにかく「解答要求」と「与件」を照らし合わせれば、「何か」書く事は可能。過去の受験者から「あの答案でAとがビックリ」という声はよく聞きます。決してあきらめず、最後の 1 分まで力を振り絞ってください

平成 21 年の対処法（大問の配点はそのままで、設問の傾斜が極端な可能性あり）

①20 分間で設計

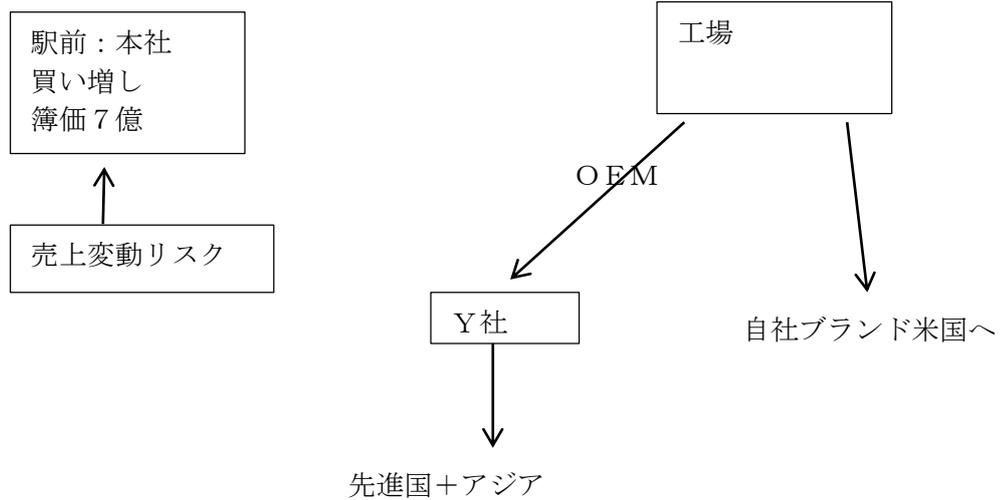
		傾斜配点	◎	○	×
第 1 問	a・b	20	14	6	
	c	20	14	6	
第 2 問	設問 1	5			5
	設問 2	5			5
第 3 問	設問 1a	8	8		
	設問 1b	8	8		
	設問 2a	8	8		
	設問 2b	6	5	1	
第 4 問	設問 1	5			5
	設問 2a	5	4		1
	設問 2b	10	8		2
合計		100	69	13	18

この年は事例 2 年目でした。  
私は第一問は 30 点弱だと思います

第 3 問は a だけで、第 4 問も設問 2 の b だけしか書けませんでした。  
45 点前後の C 評価を想定していましたが、B でした。

傾斜採点をイメージして下さい。

(解説)



本社売却 18 億→負債返済

4,500 万 (賃借料) 6,000 万 (業務委託費)  
△30,000 万 (販売管理費)

差引△19,500 の節約

第 1 問 同業他社と比べた長短所

第 2 問 税引前自己資本利益率の期待値  
財務レバレッジ

第 3 問 CVP 分析・予想 P/L (経常利益)  
感度分析・営業レバレッジ

第 4 問 為替予約・オプション

<解説>

では、確実に取りたい論点から説明します

### 第1問

では今回の問題をD社と競合他者を比較してみましょう

	指標名	D社	同業他社
収益性	総資本経常利益率 (総合的な収益性を判定)	5.41%	2.12%
	売上高総利益率	25.08%	20.92%
	売上高営業利益率	8.48%	3.99%
	売上高経常利益率	4.83%	1.81%
効率性	総資本回転率	1.12回	1.18回
	棚卸資産回転率	7.11回	6.03回
	有形固定資産回転率	2.62回	4.53回
	売上債権回転率	5.84回	5.20回
短期安全性	流動比率	137.20%	144.22%
	当座比率	90.04%	88.39%
長期安全性	固定比率	183.68%	129.95%
	固定長期適合率	76.55%	66.91%
	自己資本比率	25.56%	29.45%
	負債比率	291.26%	239.54%

<与件分から考えられる指標>

日本製の高品質・高機能が消費者に支持されており・・・売上高総利益率

事業の拡大に伴い不動産を買い増し・・・有形固定資産回転率・固定比率・負債比率

【同業他社との比較もあわせると】

長所：売上高総利益率

短所：有形固定資産回転率、負債比率

第3問

	設問1 a	b	設問2 a
売上高	5,611	4,488.8	5,611
変動売上原価	2,606	2,084.8	2,606
貢献利益	3,005	2,404	3,005
固定売上原価	1,598	1,598	1,598
販売管理費	931	931	931
			△195
営業外損益	205	205	205
			△144
固定費計	(2,734)	(2,734)	(2,395)
経常利益	271	△330	610
損益分岐点売上高	5,105		4,472
経営（営業）レバレッジ	11.09		4.93

設問2：現金 1,800 / 本社工屋 700  
売却益 1,100

BEP 売上高 = 固定費 ÷ 貢献利益率 という公式が頭に入っていれば  
こんな電卓操作で簡単に出せます

$$\textcircled{1} 2606 \div 5611 = -1 = M + 2734 \div \boxed{RM} = 5,104.983 \dots$$

設問2の記述はレバレッジの逆数が安全余裕率の逆数と思い出せたら、固定費との関連とあわせて安全性の記述をすれば良いでしょう

#### 第4問

オプションについて学習しましょう

オプションは1次で学習済ですが・・・復習です

コール（買う）オプション（権利）の購入  
プット（売る）オプション（権利）の購入

権利放棄できるのは買い手。従って、買い手のケースだけ学習しておけば大丈夫

銀行での両替をイメージすれば、そんなに難しくない

売掛金 430 万 \$ / 売上高 430 万 \$

現金 430 万 \$ / 売掛金 430 万 \$

100 円で売る権利を買っておく（プットオプション）権利代金 200 万円とする

この 430 万 \$ を銀行へもっていく  
当日のレートが 99 円なら

$$430 \text{ 万} \times 99 = 42,570$$

でも行使すると  
 $430 \text{ 万} \times 100 = 43,000$

430 万円の得

当日のレートが 101 円なら  
 $430 \text{ 万} \times 101 = 43,430$

でも行使すると  
 $430 \text{ 万} \times 100 = 43,000$

行使すると損なので権利代金 200 万円を損切する

この内容で記述すれば良い

為替予約は少し難しい問題でした

為替予約は基本的には先物取引です

円と\$を将来確定したレートで交換するという事です  
オプションと違って、必ず約束は履行しないとけません

今回の問題は

上期の為替予約 100 円で 500 万 \$  
約定日に 500 万 \$ を 100 円で売らねばなりません

430 万 \$ は回収  
これは予定通り 100 円で売ります

足りない 70 万 \$ は 102 円で買って来て、100 円で売る必要があります  
差額 140 万円が損失になります

<最後に没問の第 2 問の問 1 を説明します、問 2 は論点整理ゼミ 5 で説明済ですので割愛します>

20 期		21 期	
4,907	476	5,012	$486.16 - 182.82 = 303.34$
			$\Delta 125.3 - 182.82 = \Delta 308.12$
			負債コスト = $3,731 \times 4.9\% = 182.82$
自己資本 1,281			

23.68%

$\Delta 24.05$

期待値  $23.68 \times 0.5 + \Delta 24.05 \times 0.5 = -0.185 \rightarrow \Delta 0.19$